

---

# 《コンビニについて》

とよー

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

《コンビニについて》

### 【コード】

N3794W

### 【作者名】

とーよー

### 【あらすじ】

コンビニについての作文

最近ヒイキにしているのがローソンである。

少し前まではファミマも使ってたんだけど、俺の立ち読みしている横で、雑誌の入れ替えをしてしまうという、コンビニ業界ではアルマジキ不当な行為を起こった為、それゆえの反省を促す為にも、しばらくは行かない事になっている。

少し考えれば誰にでも分かるが、コンビニの作りは心理的にヤラシク考えられたものである。

まず、コンビニの利用で一番多い品であり、メインであるのが弁当類である。

おにぎり等も含まれる、あのコーナー。

次にジュース。

今の時期は特に売れるだろうが、人間、飲み食いは必要なのである。

そして、飲食ソレラがあって、始めて雑誌や漫画の娯楽に行き着く

わけなのだが、大体のコンビニは……と、いうより！変な田舎の個人的なコンビニと呼べるのかも疑わしい、駄菓子屋感覚のヘンテコリンなコンビニを除けば、ほぼ100パーがこの作りなのだが、まず！入り口すぐにレジがあり、大体みんな買う買わないは別にして、雑誌コーナーを通ってしまうのだ。

しかし、お気付きだろうか？

メインである、弁当コーナーはレジ前を通ればすぐに辿り着けるのにも関わらず、ほとんどの人間がレジ前を通らないのである。

何故だか、ほとんどの人間が意味の分からない気まずさを覚え、レジ前を避け、雑誌コーナー経由からの、ジュースコーナー通りの、ラスト弁当コーナーの罠になんかハマっているのにお気付きだっただろうか？

これによって、買う予定はでは無かった週刊誌が目につき、ついつい購入作戦の罠にはお気付きだっただろうか？

さらに最近流行りだした戦略が、「先走り過ぎましたね。残念ですが、今さらチエンジは少し恥ずかしいから、きつと変えないでしょね戦法」であり、選び抜いた拳げ句、コンビニにしては、まあまあ安い部類である120円のジュースを選び、ラストの弁当コーナーに行けば、その横に90円のコーヒー牛乳が設置されており、ソチラに変えたくとも「先走り過ぎましたね。残念ですが、今さらチエンジは少し恥ずかしいから、きつと変えないでしょね戦法」にハマっているのである。

全て小手先の戦略であり、悪いが俺には通じない。

始めて出向いたコンビニなどは特に、最初に見せ付けておくのが肝心である。

どんな場所であっても、まずは人間を見せてやる事が大事なのだ。

俺なんかになると悪いがいきなり真っ直ぐ突き進む。

そのまま弁当コーナーに行き着く有り様に、レジ担当の人間は勿論の事、リポビタンデー的な物を入れ直していた店員も、強者を見る目付きでコチラを凝視し、コンビニローリング無駄買い戦法の通じない客に、店長としても歯を食い縛りたくなる所だが、まだまだ、俺の戦いはここだけでは終わらない。

もし、これにより店員サイドが少しでも嫌な顔を見せれば俺の攻撃は始まってしまふのだ…。

レジ奥のタバコを舐め回す様に拝見し、店員人数の足りていない夜中に目を付け、品物を買うふりをしたり、立ち読みをしたり、それでいて時たま、うまい棒を1、2本買う等し、品物の入れ替えに専念仕切れぬ時間を与え、やつとの思いで「ありがとうございました」と、店を出たと思った瞬間、すぐに俺は戻って来、またもや「いらっしやいませー」を、いうハメに追い込み、その後はまたもや煙草コーナー、表からお客様の手で取れますよ、それでいて少し触れば鈴が鳴り、警戒だけはめちゃくちゃしてますよパターンのコ

ンビニならば、何度も鈴を鳴らしてやるのも効果的の様に思う。

あれはみんな誤解している。

あの鈴音の注目により、気まずさや恥ずかしさを覚える人間が多い様に感じるが、恥ずかしがる必要はコレツポツチも！少しも無いのだ。

こっちは客である。

気分は悪いが、勝手に向こうが疑っているだけである。

こっちは気兼ねする必要は無い。

なんなら1日中、鈴を鳴らし、2度と鈴に反応しない所か、逆に鈴の音がなくなれば、「ハッ！」と、コチラを見てしまう状況にまで追いやってしまったえば良いし、その後、紛らわしい覆面を付けて普通に買い物をしてやっても良い。

それから、話は少し変わるが、レジ横に募金箱を設置するコンビニがあり、まあ、それは良いのだが、1000円とか5000円とか、時には1万円までも入れるヘタクソな自演は止めて頂きたい。

よーし！それなら俺も奮発して1万円！というヤツはまずいないのである。

そもそも募金とは、ちょっとしたお釣りや、ポケットに入っていた小銭等を入れる所である。

「よし！弁当とジュースと雑誌は買ったが！それとは別にわざわざ財布から取りだしてっと！1万円も募金しておこう」というヤツは誰なんだ！！！！

こんな！インターネット小説サイトの誰もが無料で提供出来るはずのポイントも入りにくい世の中で！そんな事をするヤツはイッタイ誰なんだ！！！！このへたくソ自演が！！！！

そう言われたく無いなら！エロ本を白いヒモとかで固く結び付けたりするな！！！！！！

不安なんだよー！！！！！！

ちゃんと中身で選びたいんだよー！！！！！！！！

白いヒモで結び付けられた側面の端をペラペラめくり、カラーページと白黒の部分の割合いから、写真パターンとマンガパターンの割合いに目星を付けるのは、もう嫌なんだよ！！！！！！

と、数本前に出した《エロ本について》に引き続き、またもや最後はこの様な話になってしまった事を深くお詫びし、全女性ユーザー並び、全女性読者に一文を添え、この、文の締めくくりとさせて頂く…。

どーも。  
とーよーでした。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3794w/>

---

《コンビニについて》

2011年10月9日16時00分発行